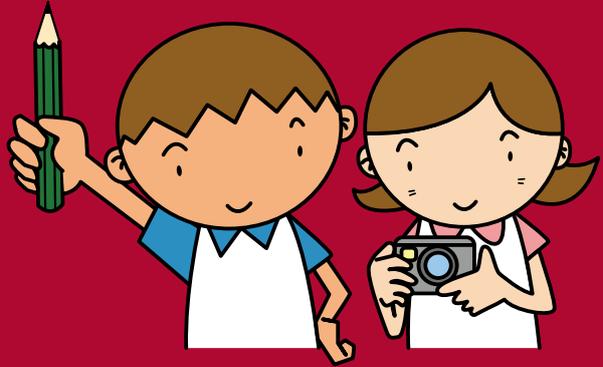


立命館大学 歴史都市防災研究所主催

みんなで作る 地域の安全安心マップコンテスト

安全安心マップを作るといいことあるの？

- ・地域のことをよく知ることができる
- ・親子で防災・防犯の共通認識ができる
- ・親子のコミュニケーションツールになる
- ・夏休みの自由研究になる
- ・作った地図をコンテストに応募すると、優秀な作品には表彰状と豪華賞品がもらえる



親子で一緒に安全安心マップを作ろう

作品介绍

2007年に本コンテストが始まって以来、これまでに約900点以上の作品の応募がありました。優秀な作品には表彰状のほか、豪華な賞品が贈呈されます。



第17回（2023年）最優秀賞



第16回（2022年）最優秀賞



第14回（2020年）最優秀賞

同年 全国児童生徒地図優秀作品展「国土交通大臣賞」受賞

出張授業もおこなっています —安全安心マップってどうやって作るの？



導入授業

地図作成やフィールドワークを行う目的、実施にあたっての重要なポイントを問いかけながら説明します。



フィールドワーク

グループにわかれて、実際に地域を歩き、どんな場所が安全、危険なのかを調べます。



地図をつくる

調べたことをもとに、グループで「どこが安全・危険なのか、なぜそう思うのか」を話し合いながら地図を作ります。



発表会

グループごとに作成した地図の工夫した点や、地図作成を通して気づいたこと、思ったことについて発表します。

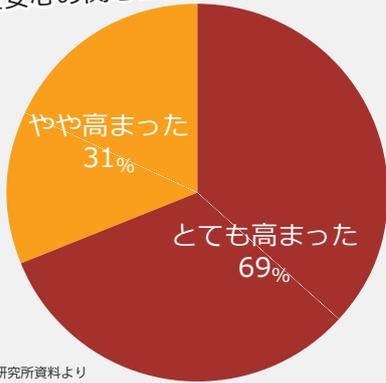
*小学校へのお出張授業のほか、自治会や防災キャンプでのワークショップも行っております。授業やワークショップの内容は、ご要望に合わせて実施いたしますのでご相談ください。

マップコンテストの詳細情報はこちらへ <https://r-dmuch.jp/project/mapcontest/>



裏もご覧ください

参加者に聞きました！
安全安心マップ作成を通して
地域の安全安心の関心は高まりましたか？



出典：歴史都市防災研究所資料より

応募者の声 Voice

親子のコミュニケーションツールになりました！の声続々と

- ▶親子で一緒に歩き、探検の気分で楽しく学ぶことができ、共通認識をもてる意味で有効だと思います。
- ▶普段なかなか気にしていても話せないことなどをマップ作りを通して話題にすることができました。
- ▶今まで気にとめなかったことに気付くことができ、親子様々な切り口から安全安心について考えることができました。
- ▶大人は見落としてしまうポイントが多い中、むしろ子供のほうが細かいことによく気づいていて、大人のほうが勉強になりました。

表彰式

毎年、応募された作品の中から、厳正な審査によって優秀作品を選定しています。優秀作品に選ばれた児童には表彰状と豪華な賞品が贈られます。



全国児童生徒地図作品展連絡協議会
(事務局：国土交通省国土地理院)
「全国児童生徒地図優秀作品展」への推薦

本コンテストで優秀な作品として選ばれた作品の中から、もっとも優れた作品を「全国児童生徒地図優秀作品展」に推薦しています。2017年、2020年に当研究所から推薦した作品が「**国土交通大臣賞**」に選ばれました。

あなたの地域は大丈夫？ 一週りに思わぬ危険が！

防災 地震発生 年間 28万回以上

自然災害はいつ起こるかわからない…

防犯 略取・誘拐 年間 106件
(連れ去りなど)

子どもの犯罪被害率は略取・誘拐が最も多い

防犯 性犯罪 年間 962件

子どもの性犯罪の被害増加

出典：気象庁 地震月報（カタログ編）(2016)
H29 警察白書 2016 年罪種別子供（13歳未満の者）

まずは、あなたの住む地域を 知ることからはじめてみませんか？

地域の防災・防犯対策では、家族や地域の方と災害・犯罪・事故に対して危険な場所や安全な場所を把握し、情報共有をしておく必要があります。ぜひ、この機会に安全安心マップ作成を通して、ご家族や地域の方と地域の安全について考えてみてください。

安全安心マップとは？

安全安心マップとは、危ない場所や危なそうな場所を調査、取材して、集めた情報と写真をもとに、地図に整理してまとめたものです。安全安心マップを作成することによって、自分が住んでいる地域をよりよく知るようになるだけでなく、収集した情報を整理してわかりやすく伝える能力を実践的に養うことができます。

調べる内容は、例えば・・・

犯罪が起きそうな場所

- ・人目が少ない
- ・路地が入りこんでいる
- ・落書きが多い

安全な場所・安全のための場所

- ・こども 110 番の家
- ・避難場所となる施設
- ・消火器や消火栓

昔からの安全な場所や危ない場所を学ぶ

- ・地域に伝わる防災の知恵
- ・災害の危険を知らせる地名
- ・駆け込み寺

通り道で危ない場所

- ・見通しが悪い
- ・ガードレールが壊れている
- ・街灯がない

災害のときに危ない場所

- ・大雨の時に川があふれそう
- ・溝のふたがなくて落ちそう
- ・地震で倒れそう

お気軽にご相談・お問い合わせください。



立命館大学歴史都市防災研究所 事務局
〒603-8341 京都市北区小松原北町 58 番地 TEL: 075-467-8801 / FAX: 075-467-8825
E-mail アドレス：rekibou@st.ritsumei.ac.jp
開館日 / 月～金 9 時 30 分～17 時 00 分 [土・日・祝日および休館日除く]

*出張授業のお申込みが多数の場合には、ご要望にお応えできないこともございますので、あらかじめご了承ください。